

## スタンドパイプ操作訓練 —初期消火活動を学ぶ—



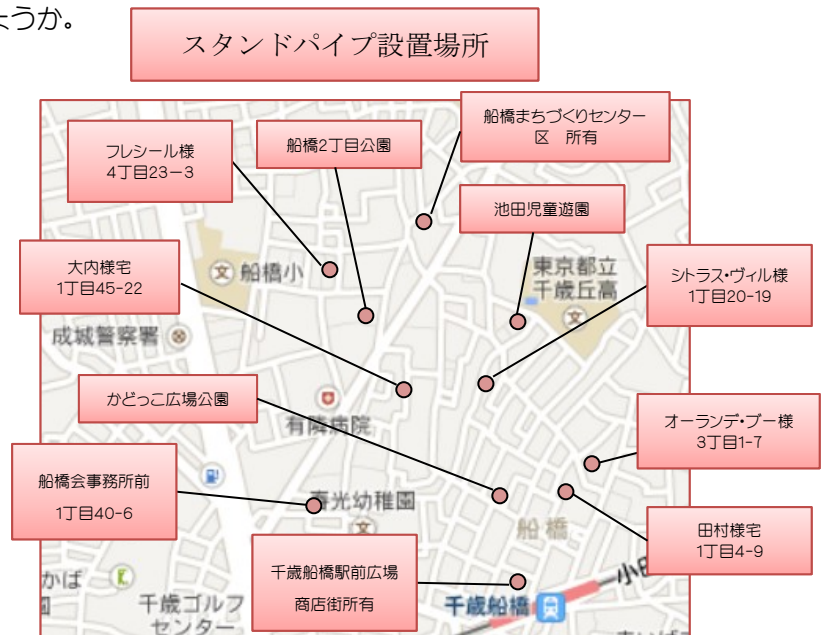
### 今後の予定

- 3月24日(金) 区立小学校卒業式  
区立船橋小学校  
区立千歳台小学校  
区立希望丘小学校
- 4月5日(水) 常会  
船橋まちづくりセンター
- 4月6日(木) 区立小学校入学式  
区立船橋小学校  
区立千歳台小学校  
区立希望丘小学校
- 4月7日(金) 区立船橋希望中学校  
入学式  
区立船橋希望中学校
- 4月7日(金) 都立千歳丘高校入学式  
都立千歳丘高校
- 4月10日(月) 大東学園高等学校  
入学式  
大東学園高等学校
- 4月6日(水)～15日(金)  
春の全国交通安全運動  
千歳船橋駅前広場
- 5月7日(日)  
定時総会ならびに定期常会  
船橋まちづくりセンター
- 5月14日(日) 古着古布リサイクル  
神明神社・船橋地区会館  
千歳船橋駅前広場
- 5月27日(土) 船橋・千歳台小学校運動会  
区立船橋・千歳台小学校
- 5月30日(火) ゴミ0デー  
町内一斉清掃
- 6月3日(土) 船橋希望中学校運動会  
区立船橋希望中学校
- 6月4日(日) 船橋あおばまつり  
池田児童遊園・能勢公園
- 6月5日(月) 定例常会  
船橋まちづくりセンター
- 6月11日(日) エコフェスタ  
区立船橋小学校

船橋の町には11基のスタンドパイプがあります。これは他の地域に比べると圧倒的に数が多く、防災活動へ先進的な取り組みを行っている地域と言えると思います。ですがこのスタンドパイプの操作をできる人がこの町にいったい何人いるのでしょうか？たとえ初期消火に有効な資器材があってもそれを使うことができなければ、何にもなりません。

船橋会では平成25年度にスタンドパイプを9基設置し、その翌年度からスタンドパイプ操作訓練を実施しております。(その他船橋まちづくりセンターに1基、千歳船橋商店街振興組合に1基)それまでは防災訓練の中の一つとして操作を学んでいました。でも設置している近くの住民にまずは実際に触って、操作方法を理解してもらいたいという考えから、複数の会場で日程を分け、小人数での訓練を行っています。この3年間で少しずつではありますが、スタンドパイプの操作ができる人が増えてきています。

これから先も沢山の住民の方が訓練に参加いただければ、いざというときに初期消火活動にスタンドパイプを役立てることができるかもしれません。でもそれで充分でしょうか？平日の昼間、住宅地である船橋の町には小さなお子さん連れの方や高齢者が多く、訓練に参加し消火活動に参加できる方は自宅から離れた勤務先にいることが考えられるのではないのでしょうか。



ではどんな取り組みが必要か。

今年度、加わった新たな取り組みは… →2,3面をご覧ください。

# スタンドパイプとは

首都直下地震など大規模な地震が発生した場合、同時に多発する災害や倒壊建物などに道を阻まれ、災害現場に消防隊の方がすぐに到着するとは限りません。その時は、地域住民が協力して消火にあたる必要があります。

いざという時、住民が活用できる消火資器材のひとつがスタンドパイプです。スタンドパイプは、道路上にある消火栓に差し込み、ホースをつなぎ消火を行います。軽量で操作も簡単、消防車が進入できない道路の狭い地域や木造住宅密集地域でも近くの消火栓を使って消火活動ができます。



スタンドパイプ収納箱の中にはマンホールを開ける消火栓キーとスタンドパイプ、ホース4巻き、スピンドルドライバー、筒先が入っています。



重い蓋もコツが解れば女性でも開けられます。後方に人がいないことを確認し、開けます。(ただし錆びている可能性もあります。)



水道管へスタンドパイプとスピンドルドライバーをセットします。



ホースは1巻き20mです。消火する方向に向かってホースをのびします。



必要な長さのホースをつないでいきます。



筒先をつけ「放水はじめ！」の合図でスピンドルドライバーを使い水道管を開き放水します。

また今回の訓練では火事を発見した方が協力して消火活動にあたるロールプレイ型訓練を5人1組で行っていただきました。

**通行人が火事を発見**  
**「火事だ!」「119番します」**  
**消火器で消火活動**  
**「消火器では消えません」**  
**スタンドパイプを準備**  
**「放水はじめ!」「放水はじめ!」**



まずは「119」通報。所在地がわかる住所や目印となる建物、状況を連絡します。



消火器は火元(下方向)に向かって放水、少しずつ火元に近づきます。

今回は3分を目標に火災発見からスタンドパイプを使った消火活動を行いました。これは近くに機材がそろっていることが前提です。ぜひこの機会にスタンドパイプの設置場所とご自宅の近くの消火栓の位置を確認してください。

# 新たな取り組み

昨年度までのスタンドパイプ操作訓練は地域住民向け＝船橋会会員のための訓練でした。もちろん住民が操作できるようになることが最優先です。でも平日の昼間に震災が起き、この地域でも複数個所で火災が発生したら…延焼を食い止めるために少しでも早く初期消火活動を行うことが必要となります。それにはこの船橋に在住していなくとも、この地域で日ごろ勤務している方に力になってもらいたい、と考えました。

そこで、今回は船橋にある金融機関や福祉施設、老人ホームへ協力を依頼し、訓練に職員の方に参加いただいたり、場所を提供いただいたりして開催することとなりました。例年通に日曜日に8回、平日に2回、訓練を行いました。また訓練を通じ、船橋にどのような施設があるかを知り、施設入居者とも顔見知りになることで、有事の際にも協力し合える関係を築くことも目的の一つとなりました。



保育園の子どもたちも参加してくれました。

また今回の訓練には中学生の参加がありました。大人と一緒に、率先して操作を学んでくれたのは、船橋希望中学校生徒会長の市川くんです。訓練のあとスタンドパイプの操作方法や訓練の様子を中学校の先生のご指導のもと、わかりやすく生徒会だよりにまとめて、全校配布してくれました。後日、中学校でインタビューしたところ、笑顔が爽やかな、とても頼りになる生徒会長さんでした。今後、市川くんのように防災に関心をもつ中学生が増え、いざというときに頼れる存在になってくれることを大いに期待しましょう。

船橋希望中学校生徒会だより「羽ばたけ」



最後になりましたが訓練

をご指導くださった成城消防署千歳出張所、消防隊の皆さん、成城消防団第三分団4部、団員の皆さん、ご協力いただいた皆さま、ご参加くださった皆さま、ありがとうございました。

## 中学生に聞いてみました！

- Q 訓練にはなぜ参加したのですか？
- A 学校の先生から勧められました。訓練は重要なものだと思っただけで参加しました。
- Q これまで「スタンドパイプ」というものは知っていましたか？
- A いいえ、まったく知りませんでした。
- Q 訓練で操作方法はわかりましたか？
- A はい、一つ一つ丁寧に教えていただいて、楽しみながら学べました。
- Q 中学生でも操作はできそうですか？
- A はい、できます！
- Q 最後に感想をお願いします
- A 重要なことだし、覚えることは大事なことだと思います。「難しく考えなくていいよ」と言われ今回は何より楽しく学べたことがよかったです。とても有意義な時間でした。ありがとうございました。



詳しくは船橋希望中学校HPをご覧ください。 <http://school.setagaya.ed.jp/tfuu/>

今年度も早いものであと10日となりました。避難所体験訓練、防災運動会、そしてスタンドパイプ操作訓練と今年度も「安全、安心な町」を目指し役員一同取り組んできました。今年4月には熊本地震が、年末には糸魚川の火災、3月には近隣でも5棟が延焼する火災があり、不安を感じた方も少なくなかったことでしよう。でも不安を感じても何をすればいいのかわからない、何も行動に移せない方もいるのでは。船橋会では多くの機会を設け、できるだけたくさんの方に参加いただける防災訓練を来年度も実施する予定です。参加することにより、防災の知識を学ぶことはもちろん同じ地域に住む方と顔見知りになり、どこにどんな施設や設備があるのかわかることができます。知っているか知らないかは気持ちも大きく違います。きっと不安な気持ちもすこしは和らぐことと思えます。「安全、安心な町」を目指し、皆さんも私たちと一緒に一歩前に踏み出しましょう。

## 部長の皆さま、一年間ありがとうございました。

部長の皆さまから寄せられた感想を一部、ご紹介します。

一番大変な仕事は集金でした。組長の皆さまが期日までに集めていただき、よくやっていただきました。募金はいろいろな考えがあり、組長の方々は苦勞されていました。一年間無事に終えることができたのは各組長の積極的な協力のおかげです。部長をして一番いい経験をしたのは各組長と知り合いになれたことです。

船橋会の行事になかなか参加できず残念に思いました。せつかく役員の方々が良い行事を企画してくれていたのに・・・スタンドパイプ訓練、あおばまつり、船橋コンサート等。

役員の方々の努力のおかげで守られて生活させていただいているように思いました。船橋に住んでいる事を誇りに思います。本当にありがとうございます。

越してきて二年目初めて参加させていただきました。地域との繋がりの大切さを実感しております。あまりお役に立てなかったこと申し訳なく思っております。



回覧配布物がきっちり月2回は多い。各種募金集金が負担になる。という組長さんからの声が多くありました。

2年間部長を務めさせていただき、大変お世話になりました。災害時のことなどを考えると、普段からの地域のつながりが大変重要であると感じました。4月から部長の役割からは外れますが、今後も地域活動に参加していきたいと思っております。

安心のできる町にしようとみんなで活発な意見をだしあい、すばらし会でした。会議にできるようになったおかげで町で会っても皆様と挨拶が出来るようになり本当に良かったと思っております。

この一年部長として参加し町内会の様子が少しわかってきました。今後も私のような者が理解できますよう役員の方にとり当たり前のことも繰り返し町内会の在り方考え方などアピールできればと願っています。

1歳児がおり、育児の片手間のできる範囲でして受けさせていただきました。しかし、常会への参加はもちろんのこと、回覧板の配布、集金などの声掛けは一年を通してとても負担の大きい仕事に感じました。今後、他の部長さんが円滑に進められるよう、最低限の事務的なフォーマットを用意された方が良いと思っております。

部長の仕事を通じて、町内会のさまざまな活動を知ることが出来ました。そしてその活動の企画等、多くの事を役員の方々がされており、感謝の気持ちでいっぱいです。ぜひ色々な方に部長を経験していただきたいと思っております。船橋がより住みよい町となりますように・・・。

町会の事業を色々手伝わさせていただくつもりが全くできませんでした。船橋に真剣に向き合われていらっしゃる役員の方々には本当に頭が下がる思いでも勉強になりました。

4月から1年間の任期で部長の皆さまには船橋会の活動を支えていただきました。中には2年間お引き受けいただいた方も。回覧や集金など世帯数が多い部・組は大変なご苦勞をお掛けしたことを思います。また今回一年間の感想を書いていただいたところ、小さなお子様がいらしたり、介護をなさったりと大変な状況の中、部長を引き受けいただいた方もいたと知り、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。一年間ありがとうございました。

船橋会全域には約7千世帯の方が住んでいますが、船橋会への加入は約3千世帯です。これは大型マンションの増加が原因と挙げられます。またご高齢の世帯は、組長をお引き受けできないといった課題もあります。

組長さんに組の世帯をまとめていただき、部長さんに各組をまとめていただき、部で直面している問題を会へ上げていただく。こういった活動は地道ではありますが、直接顔を合わせることで、よってご近所のつながりが生まれ、有事にも大きな力になると考えています。

船橋会の目的は「会員相互の理解と協調により明朗な住みよい町づくり」です。船橋がより住みよい町となるよう、今後も多くの方に賛同いただければと思います。